



時代の変化に対応するために

相双教育事務所業務次長兼学校教育課長 佐藤 伸洋

特別番組「昭和・平成・令和のヒット曲」のようなタイトルに気持ちを奪われ、そのテレビ番組を視聴することがあります。昭和時代や平成時代前半の曲であれば懐かしさを感じたり、その時の出来事を思い出したりすることができます。しかし、平成時代後半や令和時代になると、歌手名や曲名は、初めて見たり聞いたりするものもあり、曲に至っては何回か聴いたことがあるというレベルに…。この変遷に気付かないという自身のアンテナ感度の鈍さが悔やまれます。

さて、教育の変遷はどうでしょう。

<平成時代前半>「生きる力」「新しい学力観」「個に応じた指導の充実」「言語活動の充実」「体験活動の充実」「〇〇に関する指導の充実」「〇〇教育の推進」「授業づくり」「視聴覚・IT機器の利用・活用」等の言葉が記

憶の中からよみがえってきます。

<平成時代後半～令和時代>「生き抜く力」「令和の日本型学校教育」「主体的・対話的で深い学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」「学びの変革」「研修観の転換」「授業デザイン」「一人一台端末・ICT機器の活用」等、他にも数多くありますが、これらの言葉を取り上げることができるのでしょうか。

新たな時代を迎えている教育の変遷の場では、自分自身がヒット曲の非認知のように取り残されてはならないと実感しています。生活や業務の中で、自己の変容、課題解決や目的達成を図るためにも「イントロダクション」「リフレクション」を意識しながら日々取り組んでいるところです。

要請訪問を終えて

今年度の要請訪問Iでは、域内18校と5園を訪問させていただきました。各校・各園のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

各訪問においては、今年度の相双教育アピール共通実践事項「考えを広げ深める『対話的な学び』の充実」に向けて、日々積み重ねられている確かな歩みを肌で感じることができました。安心感のある学級づくりを基盤に、意図的な対話の場面設定やファシリテーションの工夫など、先生方の授業観が着実に転換していることを実感しております。

私たち教師が目指すのは、「対話」によって子どもが考えを広げ深めることです。そこで、次年度は、「対話」を通して考えを広げ深めた子どもの姿を具体的に思い描き、それを実現するための仕掛けを、先生方と共に追究していきたいと考えています。

今後も「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。

〔総務担当より〕

所得税と住民税の違いと注意点

所得税は国税、住民税(市町村民税&県民税)は地方税です。所得税は概算額を毎月納付し、12月に当該概算額(の合計)と確定額(年末調整で計算した年税額)を比べ、差額の処理をするという「前納(概算&精算)方式」に対し、住民税は税額確定後の「後納方式」です。この違いによる注意点は、退職後の住民税です。1月から4月に退職する場合、退職金等から一括徴収することが義務付けられていますが、退職金がない場合は、退職後、自分で納める必要があります。また、退職した翌年も、退職前の所得に係る住民税が課せられるため、「収入がないのにこんなに？」と慌てないように、届いた住民税の通知書を保管し、税額を把握しておくといよいでしょう。

未来を拓く教育を相双から



学力向上支援アドバイザー事業

学力向上支援アドバイザーの佐藤博先生には、八幡小学校、飯豊小学校、日立木小学校、向陽中学校において、和田安吉先生には、鹿島中学校、鹿島小学校、上真野小学校、原町第三中学校において、それぞれ授業力向上に関する助言、ふくしま学力調査や全国学力・学習状況調査の分析支援、算数・数学の授業づくりに取り組む教員の支援、現職教育や教科部会等での助言等を行っていただきました。また、管理職との密な情報共有により、組織的な授業改善の取組へとつなげていただきました。

道徳教育推進事業

10月17日(金)に相馬総合高校にて、相双・いわき地区合同で道徳地区別推進協議会が実施されました。小中高の異校種の先生方が一堂に会し、内容項目の系統性や発達に応じた道徳教育の在り方について議論する、貴重な機会となりました。秋田公立美術大学副学長の毛内嘉威様より、教師が教える垂直的な道徳教育ではなく、子どもが考えながら獲得していく水平的な道徳教育となるよう、具体的な授業場面を例に挙げながら「考え、議論する道徳」の実現に向けたご示唆をいただきました。

ふくしま英語力向上事業

以下の各事業における授業公開を通して参加者による協議を行い、授業力向上への考えを深めました。

【ふくしま外国語教育推進リーダー活用事業】

10月7日(火) 新地小学校 第6学年

【小中高連携推進事業】

9月19日(金) 原町高校 第2学年

9月29日(月) 原町第一中学校 第2学年

10月20日(月) 原町第一小学校 第6学年

超スマート社会を担う産業人材育成事業

本事業の小事業である「専門教育魅力発信応援事業」において、小・中学生が専門高校で体験学習を行いました。参加した小・中学生からは「農家の仕事を体験しているようでした。」「カフェの経営が将来の夢なので、話を聞いてよかったです。」といった声が聞かれました。高校生からも「小さい子に分かりやすく説明することの難しさを知り、これから自分がどう行動すればよいのか分かった気がする。」といった声があり、参加した児童・生徒双方にとって、有意義な機会となりました。

ふくしま幼児教育研修センター事業

11月13日(木)に、推進モデル地区である南相馬市で、第2回幼小連携・接続研修会が開催されました。午前の部では、おだか認定こども園が公開保育を行いました。午後の部では、参観した子どもの姿や保育者の働きかけを基に、グループに分かれて協議した後、福島学院大学准教授二谷京子様より「幼児期の学びや育ちを小学校につなぐ」をテーマとしたご講演をいただきました。校種の壁を越えて幼保小の連携について協議できたことは、架け橋期の充実に向け、有意義な時間となりました。

ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業

本事業では、各園・校の依頼を受け、域内の特別支援学校の地域支援センターを中心に視覚支援学校や聴覚支援学校と協力しながら、21件の相談支援と8件の研修支援を実施しました。(R7.12月現在) 幼児児童生徒の実態に応じた指導・支援のあり方や、個別の教育支援計画の作成等、各園・校のニーズに応じた内容での相談・研修に活用いただきました。特別な配慮を必要とする幼児児童生徒だけでなく、通常の学級におけるユニバーサルデザインにつながるとの声もあがっています。

表彰関係一覧

◆ 文部科学大臣表彰

[教育者表彰] 相馬市立向陽中学校 校長 武口 隆行

[優秀教職員] 相馬市立中村第一中学校 教諭 渡部 兼介

◆ キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等

[学 校] 南相馬市立大甕小学校

◆ 子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体(個人)

[図 書 館] 富岡町図書館

◆ 福島県教職員研究論文

[特 選] 相馬市立桜丘小学校 校長 木村 裕之

[入 選] 相馬市立向陽中学校 主幹教諭 佐藤 拓也

◆ 福島県令和7年度教育・文化関係表彰

[社会教育功労者] 新地町社会教育委員 大須賀 昇

[優秀教職員] 相馬市立向陽中学校 副主査 加藤 寛基

葛尾村立葛尾小学校 栄養教諭 金丸 浩枝

◆ 地方教育行政功労者表彰

元新地町教育委員会 高崎 義典

◆ ふくしまっ子体力向上優秀校

[最優秀賞] 南相馬市立原町第一小学校

◆ ふくしまっ子元気大賞

楢葉町立楢葉小学校

◆ 学校給食 優良団体・功労者表彰

[県教育長賞(県産食材活用部門)] 川内小中学園

◆ 福島県学校歯科保健優良校表彰

[優 秀 賞] 南相馬市立小高小学校

[努 力 賞] 相馬市立中村第一小学校

南相馬市立大甕小学校

[活動奨励賞] 南相馬市立上真野小学校

(敬称略)